# 社会資本総合整備計画　事後評価書

平成２９年３月３１日

| 計画の名称 | 1　東京港における自然環境の回復・創造 | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成22年度　～　平成27年度　（6年間） | 交付対象 | 東京都 |

計画の目標

①港と海と緑を一体とした総合的な港湾緑地を整備し、失われた自然環境の回復と創造を図る。
②中央防波堤沖の新海面処分場外周護岸に、多様な生物の生息環境を整備し自然と共生する東京港の実現を目指す。
③東京港野鳥公園前面水域に、多様な生物の生息環境を整備し自然と共生する東京港の実現を目指す。
④海域等公共水域の水環境の改善を図るとともに、平成15年1月1日より施行した「東京都船舶の係留保管適正化に関する条例」に伴う規制区域内の航行安全を確保するために所有者不明の沈廃船を撤去処分する。

計画の成果目標（定量的指標）

①海の森公園の整備面積を10ha（H22当初）から45ha（H27末）まで、35ha増加。
②多様な生物が生息しやすい環境を整備する。
・生物種の多い水深1.0m以浅の浅場面積を割合を拡大する。
・地形に変化を持たせて、生物相の多様化を図る。
③野鳥や水生生物の生息に適した水域環境を創出する。　約12ha増加
④東京港内に放置されている所有者不明の沈廃船を撤去・処分することにより、良好な水環境への改善、船舶の航行安全の確保及び公共水域を利用した経済活動の確保が図られる。
また、都民の快適な生活環境の保全と、都市環境の回復及び創出に貢献する。

| 定量的指標の定義及び算定式 | | | 定量的指標の現況値及び目標値 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 当初現況値 | 中間目標値 | 最終目標値 | |
| | | | （H22当初） | （H24末） | （H27末） | |
| ① | その他関連する事業 | 自然再生率（整備実施面積／計画面積） | 0%<br>（0ha/35ha） | 45%<br>（17ha/35ha） | 100%<br>（35ha/35ha） | |
| ② | その他関連する事業 | 生物生息環境改善率（多様な生物の生息を考慮して整備した護岸延長／全護岸延長）（%） | 50% | 100% | 100% | |
| ③ | その他関連する事業 | 生物生息環境改善率（干潟整備面積／計画面積）（%） | 0% | 0% | 0% | |
| ④ | その他関連する事業 | 沈廃船処理隻数（平成22年～27年で4隻処理） | 0 隻 | 1 隻 | 4 隻 | |

| 全体事業費 | 合計<br>（A＋B＋C） | 4,023百万円 | A | 3,976百万円 | B | — | C | 47百万円 | 効果促進事業費の割合<br>C／（A＋B＋C） | 1.17% |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 事　後　評　価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

| 事後評価（中間評価）の実施体制 | 事後評価の実施時期 |
|---|---|
| 事業担当局にて、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った原因を分析した。 | 平成28年度 |
| | 公表の方法 |
| | 東京都港湾局ホームページ |

１．交付対象事業の進捗状況

**交付対象事業**

**Ａ１　基幹事業**

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 港湾種別 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積・水深等） | 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-A-1 | 港湾 | 内地 | 東京都 | 直接 | — | 戦略 | 建設 | 港湾環境整備事業（海の森公園） | 植栽基盤整備面積 35ha | 東京港・中央防波堤内側地区 | ━ | ┅ | ┅ | ━ | ━ | ━ | 3,600 | H23-H24：地域自主戦略交付金 |
| 1-A-2 | 港湾 | 内地 | 東京都 | 直接 | — | 戦略 | 建設 | 海域環境創造・自然再生等（新海面） | 延長　W=1000 | 東京港・中央防波堤神地区 | ━ | ┅ | | | | | 349 | H23：地域自主戦略交付金 |
| 1-A-3 | 港湾 | 内地 | 東京都 | 直接 | — | 戦略 | 建設 | 海域環境創造・自然再生等（東京港野鳥公園 | 干潟整備面積　約12ha | 東京港・南部地区 | | | | | | ━ | 22 | |
| 1-A-4 | 港湾 | 内地 | 東京都 | 直接 | — | 戦略 | | 沈廃船処理事業 | 沈廃船処理 | 東京港 | | ┅ | | | | | 5 | H23：地域自主戦略交付金 |
| | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | 3,976 | |

**B　関連社会資本整備事業**

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積等） | 市町村名 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | |
|---|---|---|
| | | |

| C　効果促進事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | | 要素となる事業名 | 事業内容 | 市町村名<br>港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） | | | | | | 全体事業費（百万円） | 備考 |
| | | | | | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | | |
| 1-C-1 | 水生生物調査 | 内地 | 東京都 | 直接 | ― | ― | 水生生物調査 | 水生生物調査 | 水生生物モニタリング | 東京港・中央防波堤沖地区 | ━━ | ┅┅ | ┅┅ | ━━ | ━━ | | 47 | H23-H24:地域自主戦略交付金 |
| | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | 47 | |
| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 磯浜に生息する水生生物の種類や個体数を定点観測することで、整備効果を定量的に測ることが可能となる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| その他関連する事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業種別 | | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 港湾種別 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積・水深等） | 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） | | | | | | 全体事業費（百万円） | 備考 |
| | | | | | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## 2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況**

・新たな港湾緑地（35ha）の整備により、東京港において失われた自然環境の回復・創造が図られた。
・新たな磯浜（1km）の整備により、東京港において多様な生物の生息環境が創出された。
・東京港内に放置されている所有者不明の沈廃船の撤去により、港内の環境の保全及び船舶の航行安全が確保された。

**Ⅱ定量的指標の達成状況**

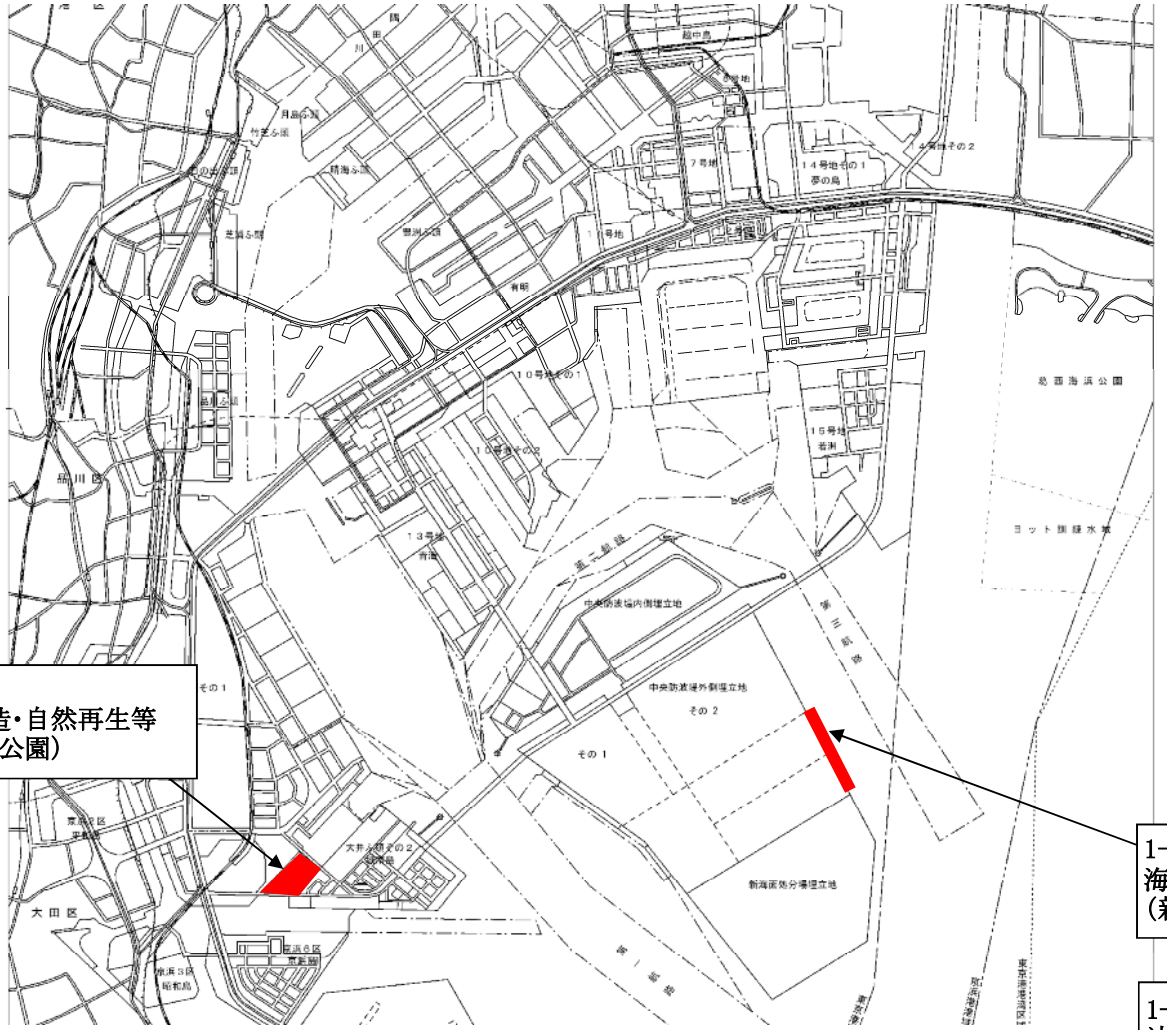
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 指標①（自然再生率） | 最終目標値 | 100% | 目標値と実績値に差が出た要因 | |
| | 最終実績値 | 100% | | |
| 指標②（生物生息環境改善率） | 最終目標値 | 100% | 目標値と実績値に差が出た要因 | |
| | 最終実績値 | 100% | | |
| 指標③（生物生息環境改善率） | 最終目標値 | 0% | 目標値と実績値に差が出た要因 | |
| | 最終実績値 | 0% | | |
| 指標④（沈廃船処理隻数） | 最終目標値 | 4隻 | 目標値と実績値に差が出た要因 | 事業実施期間内において、所有者不明の沈廃船が1隻であったため。 |
| | 最終実績値 | 1隻 | | |

**Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）**

・海の森公園における港湾環境整備事業では、都民との協働により事業を行っており、これまで延べ23,200人（H20～H27）が植樹体験を行うことができた。

## 3．特記事項（今後の方針等）

・引き続き港湾緑地の整備及び干潟等の海浜整備を行い、東京港における自然環境の回復・創造を図っていく。

| 計画の名称 | 1　東京港における自然環境の回復・創造 | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成22年度　～　平成27年度　（6年間） | 交付対象 | 東京港 |

| 計画の名称 | 1　東京港における自然環境の回復・創造 | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成22年度　～　平成27年度　（6年間） | 交付対象 | 東京港 |